

令和8年4月23日

芦屋市立潮芦屋交流センターの管理業務に関する事業報告書

(事業年度 令和7年4月1日～令和8年3月31日)

芦屋市長 高島 峻輔 様

名 称 NPO法人芦屋市国際交流協会
報告者 所在地 芦屋市大原町2番6 ラ・モール芦屋203号
代表者 会長 戸田 敬二

管理業務の実施状況

1) 施設の維持・管理体制

- 1 施設の保守については、開館前に早朝点検を行っている。夜間閉館前点検は、管理委託先から派遣される夜間管理者に実施を指導した。
- 2 設備の保守については、受電装置、自動ドア、エレベータ、冷暖房機器、駐車場設備等大型設備は全て保全管理会社と保守契約を結び、定期保守点検を実施しており、異常はなかった。
別紙「年間点検業務委託実績表」及び「保守・管理業務報告書(施設維持管理業務報告書)」を参照下さい。
- 3 施設内外の清掃については、日常清掃は清掃業者に委託しており、植栽作業等は、別途専門業者に委託した。
- 4 テニスコートの維持管理は専門業者による月2回の整備を行った。
- 5 備品管理については、新規購入・廃棄のたびに届を提出し、リストと現物が合致するよう管理した。

2) 危機管理

- 1 緊急時に備え「危機対応マニュアル(地震・防犯・防火・災害時・感染症)」を作成し、全事務職員(夜間管理者を含む)に対し、緊急時の行動指示を徹底した。平常時からBCP(事業継続計画)を周到に準備し、緊急時に事業の継続・早期復旧を図っている。
不審者の侵入対策として、事務局に刺股を備え、9月には職員による不審者対応訓練を行った。正面玄関等には「警察官立寄り所」「監視カメラ作動中」の警告表示にて注意喚起を行っている。
- 2 AED取り扱いについては、事務局長を含め職員並びに夜間受付担当者が芦屋市消防署の普通救命講習を修了している。
- 3 防火防災管理については、正副の防火管理者を定め、高浜分署の協力のもと、11月と2月の年2回の消防避難訓練を実施した。
また、事務局長含め正規職員全員が、甲種防火管理者及び防災管理者の資格を取得し、防火防災に対する意識の高揚と自己啓発を行っている。
- 4 各種イベントでの食に対する安全性確保のため、職員3名が「食品安全衛生責任者」の資格を取得している。
- 5 玄関入口と受付に消毒液を設置し、また共同スペースやトイレを毎日定期的に消毒して衛生管理を徹底した。

3) 個人情報の管理

個人情報の管理については、内規にて管理者の設置、資料の外部への持ち出しの禁止、第三者への漏洩の防止義務を定め事務職員に守秘義務を課し、紙情報は常に鍵のかかる棚で保管し、破棄すべきものは全てシュレッダーをした。また、マイナンバーの管理については、「特定個人情報等取扱規程」を定め、紙媒体資料を貸金庫にて保管を行っている。

施設の利用状況

	利用者数(延べ)		利用率	
	実績(人)	計画対比(%)	実績(%)	計画対比
潮芦屋集会所(1階)	16,840	87%	56%	0
国際交流センター(2階)	113,180	121%	46%	5ポイント増
屋外交流広場	20,586	104%	84%	1ポイント減
合 計	150,606	114%	59%	3ポイント増

・詳細は別紙「潮芦屋交流センター年間利用状況」を参照。

使用料又は利用料金の収入実績

	利用料金	
	実績	計画対比
潮芦屋集会所(1階)	¥2,805,500	101%
国際交流センター(2階)	¥4,965,160	113%
屋外交流広場	¥5,646,240	104%
キャンセル返還差額	(¥450)	-
附属設備等	¥616,800	120%
駐車場利用料	¥2,251,000	144%
合 計	¥16,284,250	111%

キャッシュレス決済割合	
CL決済件数	909
全決済件数	11,049
CL決済利用率	8.2%

外国人生活相談件数及び通訳実績

対応言語	件数
英語	11
中国語	9
日本語	10
ネパール語	7
ベトナム語	1
インドネシア語	1
合 計	39

通訳登録者増数	人数
英語	2
中国語	2
ネパール語	2
ベトナム語	3
インドネシア語	1
合 計	10

通訳実績	件数
中国語	44
合 計	44

利用者サービスの向上策	-1 「ご意見箱」を常設するとともに窓口でのお声掛けや日常会話などの自然な声掛け、コミュニケーションから意見を吸い上げ、きめ細やかなサービスと質の向上を図った。 -2 年1回お客様アンケートをWEBと紙の併用で実施することで幅広い利用者の声を収集した。より丁寧にかつ誠実に対応することで満足してもらえるサービスの提供を図った。 また、イベント毎にアンケートを実施し、担当委員会で検討し次回に繋げることで参加者の要望を満たすことができた。 -3 ホームページを多言語化することで言葉の壁を取り除いた情報提供を図った。 -4 熱中症対策として、各コート用に日傘を無償貸し出しするとともに、緊急用に保冷剤と経口補水液を事務局で常備した。火照った際や、ボールが当たった等には氷の提供をしてサポートした。 -5 利用者や道行く市民にやすらぎと季節感を感じてもらえるように、玄関前の花壇には常に色とりどりの花を絶やさないように手入れをし、12月にはクリスマスツリーを飾って季節の移り変わりを楽しんでいただいた。利用者からは来館時には花壇が楽しみである旨のコメントをいただいた。 -6 出入口にアルコール、各トイレにペーパータオルを設置し、衛生環境を整えた。 -7 定期的な貸室利用者には無償でロッカーを提供し利用しやすい環境作りをした。 -8 貸室利用者の要望があれば、延長コード、ホワイトボードマーカー、台車、加湿器、車イスの無償貸し出しをした。 -9 固定鏡の無い場所でも使用出来る移動式鏡4面を無償で貸し出した。 -10 オープンスペースにミニライブラリーを設置し英字新聞(ジャパンタイムス)、絵本や洋書を配架して近隣住民や利用者に毎日利用いただいた。 -11 市内及び近隣で開催されるイベント案内チラシを、来館者が手に取りやすい様に工夫し配置した。 -12 オープンスペースにコピー機を設置し、施設利用者のみならず近隣住民への利便を図った。2月には新機種に入れ替えて利用効率を向上させた。 -13 給湯室に無料利用の冷蔵庫を設置し、夏場に大いに利用いただいた。 -14 希望者にはピアノ、卓球台とラケット、ボールの無償貸し出しをした。 -15 和室(104室)利用向上の策として、正座をしなくても座れる低い椅子を4脚とスリッパ4足を配した。また、机・イスの利用希望者には畳上に敷く絨毯を無償貸し出しすることで机イスの利用を可能にした。 -16 月初めに実施する施設管理・運営管理に関する事務局内会議で情報共有し、要望や改善点を洗い出して迅速に対応した。 -17 寄付された傘を「善意の傘」として無償で貸し出し、利用者のみならず来館者にご利用いただいた。 -18 雨天後のテニスコート利用者には濡れたベンチの雨水を払うスクイジーの無償貸し出しで快適な利用の手助けをした。 -19 施設利用者が開催している教室の案内をすることで利用者の増加を図ると共に利用率の向上にもつながった。 -20 当日利用に限り電話予約を受け付けることで利用者の利便性を図った。
--------------------	--

近隣居住者との共存の取組	-1 近隣の団体「潮芦屋ふれあい元気の会」のメンバーとして地域団体や地域住民と連携して地域間交流の一端を担った。地域活性化を目的とする数回のイベントに携わり近隣住民、団体、施設との連携を図った。 構成団体：市営南芦屋浜団地自治会、陽光町6番自治会、陽光町寿光会、医療法人昭圭会南芦屋浜病院さくらの園、シニアライフコート潮芦屋、シニアライフパレス潮芦屋、グループホーム「マイホーム芦屋」、複合介護施設陽光苑、高齢者総合福祉施設愛しや、社会福祉法人きらくえんあしや喜楽苑、ユニバーサルボランティア神戸、芦屋みどり作業所、わいわい食堂、潮芦屋ろじもん市、あしや福介家、潮芦屋げんきCafé、潮芦屋マリーナセンター、潮見高齢者生活支援センター、芦屋市社会福祉協議会、地域福祉アクションプログラム推進協議会、芦屋クリニックのぞみ、芦屋大学サッカー部、若葉町七番自治会、わかば子ども食堂、南芦屋浜コミュニティ&アートわくわく会議、NPO法人芦屋まちづくり倶楽部 -2 「潮芦屋ふれあい元気の会」が主催するイベントに関わることで地域住民との繋がりが深まった。 ・「桜まつり」：潮芦屋交流センター定期利用者のリコーダーチームをステージ出演に派遣した。 ・「盆踊り」：芦屋大学留学生多言語相談員6名と留学生11名を派遣して、多言語での交流として「キミの名まえを外国語で書いた団扇をプレゼント」のブースを出店した。 ・「餅つき大会」：日本語学習者の中国人男性による太極拳をステージで披露し、来場者も一緒に太極拳を体験した。 -3 地域8町7自治会・2町内会が開催する防災イベントに、芦屋大学留学生多言語相談員7名を炊き出し要員として派遣し、市民との和やかな交流を図ることでお互いの理解を深める機会を創出した。 -4 近隣自治会の会合には部屋利用やプロジェクターなどの機器利用を無料で提供し、自治会運営に協力した。 -5 赤ちゃんの駅を設置し、授乳やおむつ交換を気持ち良くして頂ける場所を無料提供し、多くの方に利用いただいた。 -6 「ひとり役活動」と連携し地域のボランティア活動の活性化に寄与し、生き甲斐や活動の励み場所を提供した。 -7 近隣住民から花苗の提供があり、職員と一緒に植え替え作業を行うことで相互の交流を図った。 -8 保健センター出張健診「乳がん検診」の受け入れで、エントランスと関係者駐車場を開放し、近隣住民に利用いただいた。 -9 オープンスペースの一角に自習スペースを設け、近隣の子どもの安心できる憩いの場や、受験勉強、宿題などの自主勉強の場所として大いに利用していただいた。また、子どもが利用しない時間帯には高齢者の趣味の場や交流の場としても利用していただいた。 -10 近隣在住の子どもが学校と自宅の中継施設として安心して利用できる身近な施設になるように、挨拶や声掛けで職員が優しくきめ細やかに接して子どもが困った際の駆け込み寺的存在として役立った。 -11 近隣小学校（潮見小学校）の要請で街探検を受け入れ、児童にセンターを案内・紹介した。 -12 芦屋大学の要請で書道体験に9名の学生を受け入れた。 -13 市民が気軽に立ち寄れる親しみある施設にするために、積極的にイベントや活動の情報を発信した。 -14 日本語子ども教室に市内在住の高校生がボランティアとして参加することで、多文化共生の取組みを伝えることができた。 -15 英語版ゴミカレンダーを配架して近隣住民同士のゴミトラブル回避に役立った。 -16 芦屋市の涼み処として1階共用部分を開放した。
---------------------	---

潮芦屋交流センター 年間利用状況 令和7年度

潮芦屋集会所														
	(総 区 分 数 a)	(利 用 者 数 延)	(利 用 者 数 実)	利用区分数(b)						(b 利 用 率 a)	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
101号	918	3,723	0	5	2	3	561	1	572	62%	4,290	1,114,890	3,460	¥1,122,640
102号	918	8,638	3,390	14	21	12	500	5	552	60%	11,370	785,650	13,400	¥810,420
103号	918	2,676	4,942	16	12	2	571	5	606	66%	1,280	489,210	7,500	¥497,990
104号 (和室)	918	1,803	2,290	18	11	1	271	37	338	37%	790	298,920	74,740	¥374,450
合計	3,672	16,840	10,622	53	46	18	1,903	48	2068	56%	¥17,730	¥2,688,670	¥99,100	¥2,805,500
													キャンセル	¥6,300

国際交流センター														
	(総 区 分 数 a)	(利 用 者 数 延)	(利 用 者 数 実)	利用区分数(b)						(b 利 用 率 a)	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
201室	1,224	34,163	14,855	54	47	48	617	4	770	63%	¥72,090	¥1,310,480	¥13,400	¥1,395,970
202室	1,224	26,823	6,863	51	53	24	387	3	518	42%	¥35,810	¥811,070	¥10,560	¥857,440
203室	1,224	25,800	8,110	73	46	44	549	5	717	59%	¥54,890	¥1,188,980	¥16,240	¥1,260,110
204室	1,224	13,952	6,444	225	32	3	413	4	677	55%	¥3,430	¥830,210	¥12,400	¥846,040
205室	1,224	6,194	4,704	417	75	35	263	0	790	65%	¥20,600	¥340,330	¥0	¥360,930
206調理室	1,224	3,567	1,345	73	19	1	66	0	159	13%	¥1,750	¥141,600	¥0	¥143,350
206試食室	1,224	2,681	1,019	197	17	5	51	12	282	23%	¥3,810	¥63,270	¥34,240	¥101,320
合計	8,568	113,180	43,340	1,090	289	160	2,346	28	3,913	46%	¥192,380	¥4,685,940	¥86,840	¥4,965,160
													キャンセル	¥-6,750
以下は多目的(201.202.203)として利用した内数														
(再掲)多目的室として	1,224	7,701	2,348	32	37	15	37	2	123	10%	¥70,260	¥218,430	¥17,040	¥305,730
(再掲)206室として	1,224	1,983	727	53	10	1	17	0	81	7%	¥2,450	¥50,500	¥0	¥52,950

屋外交流広場															
		(総 区 分 数 a)	(利 用 者 数 延)	(利 用 者 数 実)	利用区分数(b)						(b 利 用 率 a)	利用料金			
					指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
屋 外 交 流 広 場	A	1,548	7,687	7,151	0	0	0	1,450	0	1,450	94%	¥0	¥2,088,000	¥0	¥2,088,000
	B	1,562	5,994	4,953	0	0	0	1,107	1	1,108	71%	¥0	¥1,594,080	¥2,880	¥1,596,960
	C	1,561	6,905	5,944	0	0	0	1,362	0	1,362	87%	¥0	¥1,961,280	¥0	¥1,961,280
合計		4,671	20,586	18,048	0	0	0	3,919	1	3,920	84%	¥0	¥5,643,360	¥2,880	¥5,646,240
(再掲)屋外交流広 場として		1,530	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	¥0	¥0	¥0	¥0
クローズ件数		144											キャンセル		¥0

総合計														
	(総 区 分 数 a)	(利 用 者 数 延)	(利 用 者 数 実)	利用区分数(b)						(b 利 用 率 a)	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	合計		3割減免	一般	加算	合計
	16,911	150,606	73,505	1,143	335	178	8,168	77	9,901	59%	210,110	13,017,970	188,820	¥13,416,900
													キャンセル	¥-450

単位: 総区分数、利用区分数 (件)
利用者数 (人)

令和7年度姉妹都市交流事業(学生親善使節交換)報告

第59回姉妹都市学生親善使節交換事業

芦屋市と米国モンテベロ市との間で、59回目の学生親善使節(SA)2名ずつの相互訪問を実施した。

派遣使節(期間:7/23~8/14)

- ・小西 珠輝(高校2年・男性)
- ・古川 紗裕(高校2年・女性)

受入使節(期間:7/17~8/6)

- ・アンドリュー・フランコ(高校3年・男性)
- ・アンソニー・ラミレス(高校4年・男性)

ホームステイ状況

芦屋市の学生親善使節の家庭でモンテベロ市の学生親善使節1名ずつを1週間受け入れるとともに、一般市民からホストファミリーを4家庭募り、各家庭にモンテベロ市の学生親善使節1名ずつのホームステイを約1週間引き受けていただいた。

実施した主要行事

- ・市長・議長・消防署長・警察署長表敬訪問、歓送迎会(7/18)
- ・茶道体験(7/21)
- ・能体験、市内観光(7/22)
- ・広島ツアー(平和学習)(7/25)
- ・サマーカーニバルで花火鑑賞(7/26)
- ・書道体験・ハワイアンコンサートで紹介(7/27)
- ・精道小学校訪問(7/28)
- ・灘高校訪問(7/29)
- ・日本語レッスン(7/31)
- ・山手中ESS訪問(8/1)
- ・県立芦屋高校訪問(8/4)
- ・華道体験、さよならパーティー(8/5)
- ・帰国報告会(9/14)

16名のホストアンバサダーはホスト役として積極的に行事に参加して交流活動の活性化を図った。

市民との交流では、精道小学校、山手中学校、灘高校、県立芦屋高校を訪問し学校関係者、児童、生徒および保護者と親交を深める事ができた。期間中の公式行事参加人数は768名であった。

第60回姉妹都市学生親善使節の選考結果

次年度派遣の学生親善使節の選考試験は、筆記試験及び面接を行い、下記の2名に決定した。

- ・江夏 大河(高校2年・男性)
- ・牛尾 あまね(高校1年・女性)

令和7年度 潮芦屋交流センター利用率一覧

単位:総区分・利用区分(件), 利用率(%)

	4月			5月			6月			7月		
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率
潮芦屋集会所	300	152	51%	324	184	57%	312	175	56%	312	194	62%
国際交流センター	700	320	46%	756	329	44%	728	333	46%	728	363	50%
屋外交流広場	419	384	92%	436	396	91%	385	326	85%	431	337	78%
総合計	1,419	856	60%	1,516	909	60%	1,425	834	59%	1,471	894	61%

	8月			9月			10月			11月		
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率
潮芦屋集会所	324	159	49%	312	172	55%	312	183	59%	312	176	56%
国際交流センター	756	256	34%	728	308	42%	728	360	49%	728	327	45%
屋外交流広場				456	367	80%	423	340	80%	440	369	84%
総合計	1,080	415	38%	1,496	847	57%	1,463	883	60%	1,480	872	59%

	12月			1月			2月			3月			計			計画
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	
潮芦屋集会所	276	167	61%	276	163	59%	288	175	61%	324	168	52%	3,672	2,068	56%	56%
国際交流センター	644	334	52%	644	294	46%	672	330	49%	756	359	47%	8,568	3,913	46%	41%
屋外交流広場	394	330	84%	413	338	82%	422	345	82%	452	388	86%	4,671	3,920	84%	83%
総合計	1,314	831	63%	1,333	795	60%	1,382	850	62%	1,532	915	60%	16,911	9,901	59%	56%

令和7年度 潮芦屋交流センター部屋別 延べ利用人数一覧

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
潮芦屋集会所	1,367	1,535	1,576	1,740	1,213	1,406	1,509	1,345	1,370	1,270	1,215	1,294	16,840
国際交流センター	6,925	7,538	8,988	9,729	7,808	7,602	21,698	8,013	10,175	7,022	8,295	9,387	113,180
屋外交流広場	2,037	1,990	1,925	1,606		1,794	2,256	2,149	1,627	1,642	1,657	1,903	20,586
総合計	10,329	11,063	12,489	13,075	9,021	10,802	25,463	11,507	13,172	9,934	11,167	12,584	150,606

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果		
	提案内容 【本来事業】	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数
1	在住外国人参画企画イベント	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。	毎年	3回以上	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。	多言語相談窓口通訳者の芦屋大学留学生企画「留学生の日本語スピーチ披露と交流会」を開催した。	137	3回
2	地域住民と在住外国人との交流イベント	芦屋市民と市内在住外国人とが英語で交流する場を提供。			コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版ほか	コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版をそれぞれ1回ずつ開催した。		
3		芦屋市民と市内在住外国人とが日本語で交流する場を提供。						
4	日本語ボランティア講師養成・研修	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	毎年	2回以上	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	日本語ボランティア養成講座全7回コースを1回、ブラッシュアップ研修1回を開催した。	293	2回
5	災害時外国人協力者の育成・研修				災害時外国人協力者の育成・研修	外国人ボランティアを自治会が開催する防災訓練に参加させ、消火器の扱い方、炊き出し、放水体験等をした。		
6	外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修				外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修	外国人ボランティアを自治会が開催する防災訓練に参加させ、消火器の扱い方、炊き出し、放水体験等をした。		
7	多文化共生に関する情報提供SNS利用	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	随時		多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供した。	-	随時
8	国際理解(多文化共生)講演会	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを開催。	毎年	1回	ニュースなどで市民が大きな関心を寄せる世界情勢について理解を深めたり、その国の言葉や文化などに直接触れることで親近感を持ちながら国際交流を育めたりする内容やテーマについてセミナーを開催	「2026年 日本はどこへ向かうか？」のテーマで元国連大使の神余隆博氏の講演後、参加者との交流会を行った。	66	1回
9	日本語教室	市内在住の外国人に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教室を実施。学習者のニーズに応じたレベル・内容をマンツーマンで指導。	毎年	週4日全5クラス	市内在住外国人(中学生以上)に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的としたマンツーマンの日本語学習支援	週4日全5クラス	1,492	
10	こども日本語教室	小学生を対象にした、日本語学習のサポート。	毎年	週1日全1クラス	外国にルーツを持つ市内在住小学生に対して、日常生活や学校生活がスムーズに送れるように日本語学習をサポート	週1日全1クラス	443	35回
11	市内在住外国人向け多言語防災情報の提供	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	随時		芦屋市や内閣府が発信する防災情報をやさしい日本語と多言語に翻訳して提供	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	-	随時
12	市内在住外国人向け防災教室	シェイクアウト訓練や避難場所の確認など、実践的な講義を実施。	毎年	1回	災害時に情報弱者となりがちな在住外国人に向けて、防災の知識を普及する講義の開催	日本語教室に支援委員が出向き、スマホで芦屋市のHPから学習者の居住地の避難所を確認しながら外国人住民に必要な情報を確認してもらう講義を一般在住外国人にも呼び掛けて10回にわたり開催した。	64	10回
13	多言語相談窓口	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等でも対応します。更に、音声自動翻訳機を導入して多言語対応も可能にします。社会福祉協議会と協働で年に1回多言語(英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・その他1言語)による相談会を開催します。	毎年	各言語月1回以上	やさしい日本語、英語(随時)、中国語(土日)、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語は予約制で随時、音声自動翻訳機も活用して対応	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で随時対応した。地域の夏祭りや雪防災に通訳者を派遣して住民との交流を図り、外国人住民との壁を低くあらいは取り除く機会を作った。潮見幼稚園からの要請でネパール人園児とその保護者の通訳者として9回派遣し、その後は教育委員会へ繋いだ。	160	53回
14	姉妹都市交流	学生親善使節交換事業	毎年	1回	学生親善使節交換事業	別紙「SA事業報告」参照 モ市姉妹都市交流協会員 マイケル岡村氏講演会「アメリカにおける日系人の歴史」	891	1回
15	姉妹都市交流	姉妹都市提携周年事業 (モンテペロ市民訪問団受け入れ事業)	令和8年	1回	-	モ市姉妹都市交流協会員 マイケル岡村氏講演会「アメリカにおける日系人の歴史」 芦屋市長とモンテペロ市長のオンライン対談に2025年度SA2名がビデオメッセージ参加	58 (小学生27名含む)	1回
16	姉妹都市の情報提供	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナーなどを利用して情報を提供します。	毎年	1回	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナー、広報あしなどを利用して情報を提供します。 市内小学校(精道小学校)と姉妹都市(モンテペロ)小学校間の交流の手助けをします。	10/19ワールドフェスタ「姉妹都市紹介ブース」を設けた。1/24「芦屋市英語スピーチコンテスト」、2/10精道小学校、3/16山手小学校にて姉妹都市事業を紹介した。 広報番組3月後半でホストファミリー特集を放映した。	9	4回
17	国際交流関係団体等のマネジメント	・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室(茶道・書道・華道)を開催します。 ・阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会議)、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	随時		・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室(茶道・書道・華道)を開催します。 ・阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会議)、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	・「日本語ブラッシュアップ研修」を市内日本語ボランティア教室に案内して開催した。 ・芦屋大学が開催する留学生によるスピーチコンテストで審査員を務めた。 ・芦屋大学からの要請を受けて9名の留学生が書道体験した。 ・阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会議)、ひょうご国際交流団体連絡協議会に出席し、国際交流に関する活動情報を共有してセンターでの活動に活用した。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組んだ。	22	随時
18	施設パンフレット	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	令和6年	1回	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	2024年度に作成した中国語版を含めた英語版、やさしい日本語版で利用促進を図った。	-	随時
19	施設のホームページ運営	施設のホームページ運営(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)	随時		施設のホームページ運営(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)	施設のホームページを多言語化(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)。	-	随時
20	施設の提供に関する事	意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング利用率向上の為に工夫:トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にします。	随時		意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング利用率向上の為に工夫:トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にします。	意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティングを行った。利用率向上の為に工夫:トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込んだ。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にした。	-	随時
【自主事業】								
1	姉妹都市提携65周年記念事業	姉妹都市提携周年事業(芦屋市民訪問団の派遣)	令和8年	1回	-	12/14に訪問団説明会、3/15に65周年芦屋市民訪問団結団式開催	51	1回
2	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズに、世界の国々の代表的な料理に加えて異国の文化や習慣などを市内在住外国人からその国の紹介をしていただく教室。	毎年	月1回 (除8月、1月)	4月「タイ編」5月「フランス編」以降未定	4月「タイ編」、5月「フランス編」、6月「イタリア編」、7月「ブラジル編」、9月「フランス菓子」、11月「台湾編」、12月「日本編」、1月「イラン編」、2月「インド編」、3月「タイ編」	250	月1回 (除8月、10月)全10
3	潮芦屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験者など。	毎年	2回	6月「英語落語」以降未定	6月「英語落語」、9月「国連ってなに?」	117 (小学生4人、高校生7人含む)	2回

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果		
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数
4	潮芦屋コンサート	市民に気軽に世界の音楽を楽しんでもらうよう、クラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、邦楽演奏まで、幅広いジャンルのコンサートを開催し、芦屋市の文化レベルをさらに高めることを目指します。	毎年	3回	7月「ハワイアン」以降未定	7月「ハワイアン」、12月「ジャズ」、3月「ボサノヴァコンサート」	346	3回
5	ワールドフェスタ	オータムフェスタと連携して、コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供します。	毎年	1回	10月ワールドフェスタ「音楽、ダンスと世界の料理、世界の雑貨の買い物を楽しむ」	世界の料理と茶葉「ブラジル、スペイン、韓国、中国、日本、フランス菓子」 ステージ「馬頭琴、アコーディオン、沖縄民謡、ストリートダンス」 スリランカ雑貨販売とバザー開催 茶道教室学習者によるお茶席の開催 姉妹都市交流事業紹介ブース 書道無料体験ブース 芦屋大学留学生有償ボランティア7名が世界の料理販売員として日本語ボランティアと共に市民との交流を図った。	780	1回
6	英会話教室	外国人講師による英会話教室の開催。	毎年	週4日全5クラス	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室、外国人講師による英会話教室の合計7教室を定期的に開講。各クラスとも少人数制で、レベルに応じた柔軟で充実した内容を用意。語学教室という枠にとらわれず文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てる語学教室とする	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室、外国人講師による英会話教室の合計7教室を定期的に開講。各クラスとも少人数制で、レベルに応じた柔軟で充実した内容を用意。語学教室という「枠」にとらわれず文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てる語学教室とする	1,294	186回
7	英語教室	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室の開催。	毎年	週2日全2クラス			466	72回
8	日本伝統文化教室	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書道)。	毎年	各6回	市内在住外国人を対象に、日本の伝統文化(華道、書道、茶道)に触れる機会を提供するための文化教室を開催	市内在住外国人を対象に、日本の伝統文化(華道、書道、茶道)に触れる機会を提供するための文化教室を開催	書道57人 華道24人 茶道57人	書道10回 華道9回 茶道10回
9	やさしい日本語講座と普及活動	ボランティアが必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する。また、芦屋市民向けに「やさしい日本語」を学んでいただける教室の開催。	毎年	1回	市民とボランティアの人達が、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する	11/21にCHIAの「やさしい日本語普及講師派遣制度」を利用して、市民と日本語ボランティアの人達が、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修した	13	1回
10	外国人向け情報紙の発行	「ロコモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	毎年	6回		魔刊		
11	文化イベント	市内在住外国人に対して、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベントの開催。	毎年	1回	市内在住外国人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベント。「七夕まつり」「雛まつり」「端午の節句」「日本語スピーチ」など	日本語を母語としない人による日本語スピーチを行った。出席者は市内日本語教室の学習者9名。聴衆は日本語ボランティアのほか、一般市民の参加もあった。7月6日(日)に七夕まつりを兼ねて開催することを検討したが、日本語能力試験日と重なるため1週間遅れとした。会場には七夕飾りをして、願いごとを書いてもらった	54	1回
12	体験学習(施設見学)	国際交流のための日帰りの施設見学(体験学習などを含む)を実施。	毎年	1回	国際交流のための日帰りの施設見学(体験学習などを含む)を実施。	日本語教室学習者やその家族友人と日本語ボランティアを対象に、貸切バスで海遊館見学後、海鮮バーベキューの昼食をとった。バス内での自己紹介や皆で食事することで、知人・友人を増やし交流を深めることができた。	36 (児童、学生9人含む)	1回
13	地域社会とのつながりの強化				市内小学校(潮見小学校)の多文化共生授業へ出張授業、市内小学校の課外授業「町探検」受け入れ	・8/23「潮芦屋ふるさと盆踊り」に多言語相談通訳者を含む芦屋大学留学生17名を派遣して団扇に多言語でメッセージを書いて無料で配布して市民との交流を図った。 ・10/9に潮見小学校街探検で27名の児童を受け入れた。 ・11/23～3/31に山手中学校英語授業の成果物をオープンスペースに展示した。 ・モンテペロ市姉妹都市協会員のマイケル岡村氏の来芦に合わせて「アメリカにおける日系人の歴史」をテーマに講演会を開催し近隣の芦屋インターナショナル児童27名も参加して、若い世代に日本の歴史を知る機会を創出した。	71	3回
14	地域コミュニティ発展への取り組み	地域コミュニティへの協力	随時		地域のボランティア活動団体「潮芦屋ふれあいぐんきの会」の会員として地域住民、地域団体と連携・協働によるイベント等の活動で地域の活性化と発展を図る	地域のボランティア活動団体「潮芦屋ふれあいぐんきの会」の会員として地域住民、地域団体と連携・協働によるイベント等の活動で地域の活性化と発展を図る	22	12回

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果		
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数
15	地域コミュニティ発展への取り組み	芦屋市への貢献	随時		市内在住外国人向け日本語教室、災害時の情報提供・防災教室を開催して市内在住外国人の地域への定着とトラブル防止を図る。	・市内在住外国人向け日本語教室、災害時の情報提供・防災教室を開催して市内在住外国人の地域への定着とトラブル防止を図った。 ・芦屋市生活安全推進連絡会の委員として情報を共有し、住みよいまちづくりに協力した。 ・芦屋市地域日本語教育コーディネーターと2回にわたる意見交換で情報を共有した。 ・帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会に出席して情報を共有した。 ・芦屋市人権教育・人権啓発推進懇話会の委員を担い、第52回研究大会分科会には「定住外国人と地域の役割～当事者の声を聞く～」の演者として外国人支援委員長と日本語学習者が発表した。 ・芦屋市の涼み処として1階共用部分を開放した。 ・芦屋市長とモンテペロ市長のオンライン対談に2025年度SA2名がビデオメッセージで参加した。 ・オープンガーデンに参加した。	－	都度
16		地域イベント「オータムフェスタ」の共催・連携			地域のイベント「オータムフェスタ」に合わせて「ワールドフェスタ」を開催することで集客と地域の盛り上げに寄与する。		－	
17		地域ボランティア活動との連携			「ひとり一役活動」と連携して地域ボランティアへ活動の場を提供することで、地域の発展を図る。 また、潮芦屋交流センターのカーデンで在住外国人と共に活動することお互いにふれあい、理解を深める機会を提供する。	「ひとり一役活動」と連携して地域ボランティアへ活動の場を提供すること で、地域の発展を図った。	4	都度

瀬戸屋交流センター 管理業務の実施に係る収支状況 令和7(2025)年度		2026/4/11	
収入		支出	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
指定管理料	28,138,000	指定管理業務	43,848,290
利用料収入	16,284,250	人件費支出	19,248,252
瀬戸屋集会所	2,805,500	給与等	17,192,987
国際交流センター	4,965,160	社会保険料等	2,055,265
屋外交流広場	5,646,240	修繕費支出	691,845
キャンセル返還差額	-450	その他支出	23,908,183
附属設備等	616,800	光熱水費	4,194,091
駐車場	2,251,000	委託料	10,692,413
本事業収入	828,400	手数料	67,303
多文化共生推進事業	322,400	保険料	139,220
在住外国人参画企画イベント	23,000	備品費	0
コスモかふえ(英語版・日本語版)	32,500	消耗品費	2,013,964
ボランティア育成・研修	204,500	通信費	259,026
災害時外国人協力者の育成・研修	0	印刷費	533,238
外国語翻訳通訳V育成・研修	0	交通活動費	109,530
多文化共生情報提供	0	研修費	8,610
国際理解(多文化共生)講演会	62,400	諸会費	10,000
市内在住外国人に対する支援事業	160,200	HP維持管理費	754,710
日本語教室	149,200	AEDリース料	75,240
こども日本語	11,000	キャッシュレス決済運営	466,564
多言語防災情報提供	0	一般管理費	2,000,000
外国人向け防災教室	0	租税公課	2,584,285
多言語生活相談窓口	0	(上記のうち施設の維持管理に係るもの)	
姉妹都市交流事業	344,000	人件費	99,000
学生親善使節交換事業	344,000	消耗品費	2,013,964
周年事業受け入れ	0	役務費	465,549
姉妹都市の情報提供	0	光熱水費	4,194,091
国際関係団体のマネジメント	1,800	修繕費	691,845
市民の理解・満足度に関すること	0	設備等点検費	1,925,553
施設パンフレット	0	警備費・管理人費	142,560
ホームページ運営	0	植栽剪定費	285,000
施設の提供に関すること	0	清掃業務費	3,404,637
自主事業収入	3,979,290	その他委託費	116,600
多文化共生事業	1,325,640	備品購入費	0
世界の料理教室	662,600	AEDリース料	75,240
瀬戸屋セミナー	82,400	租税公課	2,584,285
瀬戸屋コンサート	274,400	本事業支出	2,618,906
ワールドフェスタ	306,240	多文化共生推進事業	213,017
語学教室	2,363,550	在住外国人参画企画イベント	44,183
英会話教室	1,828,950	コスモかふえ(英語版・日本語版)	14,015
英語教室	534,600	ボランティア育成・研修	96,000
外国人支援事業	286,100	災害時外国人協力者の育成・研修	22,000
文化教室(書道・華道・茶道)	49,900	外国語翻訳通訳V育成・研修	0
やさしい日本語講座・普及	0	多文化共生情報提供	0
文化祭	0	国際理解(多文化共生)講演会	36,819
施設見学	236,200	市内在住外国人に対する支援事業	518,866
姉妹都市交流事業	4,000	日本語教室	271,600
周年事業訪問団派遣	4,000	こども日本語	16,296
地域住民・市民との協働	0	多言語防災情報提供	0
地域住民との懇話会	0	外国人向け防災教室	4,000
ひとり一役運動	0	多言語生活相談窓口	226,970
その他	63,820	姉妹都市交流事業	1,886,023
雑収入	24,620	学生親善使節交換事業	1,886,023
コピー機利用料金	39,200	周年事業受け入れ	0
受取利息	44,637	姉妹都市の情報提供	0
自販機売上げ手数料	337,853	国際関係団体のマネジメント	1,000
		市民の理解・満足度に関すること	0
		施設パンフレット	0
		ホームページ運営	0
		施設の提供に関すること	0
		自主事業支出	3,063,689
		多文化共生事業	750,779
		世界の料理教室	411,467
		瀬戸屋セミナー	78,994
		瀬戸屋コンサート	165,327
		ワールドフェスタ	94,991
		語学教室	1,943,238
		英会話教室	1,445,668
		英語教室	497,570
		外国人支援事業	365,672
		文化教室(書道・華道・茶道)	80,607
		やさしい日本語講座・普及	140
		文化祭	9,540
		施設見学	275,385
		姉妹都市交流事業	4,000
		周年事業訪問団派遣	4,000
		地域住民・市民との協働	0
		地域住民との懇話会	0
		ひとり一役運動	0
		支出計	49,530,885
		収支差額	145,165
合計	49,676,050	合計	49,676,050

令和7年度 年間点検業務委託実績表

施設名 : 潮芦屋交流センター

令和8年4月13日

	点検業務委託名	回数(年)	実施日1	実施日2	実施日3	実施日4	実施日5	実施日6	実施日7	備考
1	建物設備巡回点検	年4回	6/2	9/25	12/23	3/12	-	-	-	当施設建築業者による点検
2	館内清掃	毎日	-	-	-	-	-	-	-	休館日を除く
3	屋外清掃	週2回	-	-	-	-	-	-	-	
4	不定期清掃(床洗浄・ワックス掛・配水管・ガラス洗浄作業)	都度	3/11	-	-	-	-	-	-	床洗浄・ワックス掛
5	夜間受付管理	毎日	-	-	-	-	-	-	-	休館日を除く
6	テニスコート整地業務	月2回	-	-	-	-	-	-	-	休館日以外の早朝に実施(雨天時は順延)
7	剪定・除草	年7回	5/19	6/24	7/28	9/11	10/6	11/14	2/4	2月は寒肥
8	保全委託	毎日:21:45-8:45	-	-	-	-	-	-	-	セコムの機械警備
9	自家用電気工作物保守点検	隔月(偶数)	4/11	6/25	8/8	10/10	12/12	2/12	-	左記及び年2回のキュービクル点検
10	エレベーター設備保守点検	年4回	6/24	9/29	12/16	3/24	-	-	-	左記及び毎月1回遠隔点検、年1回定期検査
11	冷暖房設備保守点検	年2回	5/28	-	11/19	-	-	-	-	
	フロン点検	年4回	5/28	8/19	11/19	2/13	-	-	-	空調点検時実施
12	消防用設備定期点検	年2回	4/30	9/10	-	-	-	-		特例認定申請24年1月【厳守】次回27年1月
13	駐車場設備保守点検	年4回	6/24	9/26	12/22	3/10	-	-	-	
14	自動扉設備保守点検	年4回	4/21	7/1	10/17	1/23	-	-	-	
15	電話交換機保守点検	故障の都度	-	-	-	-	-	-	-	今年度は実施なし
16	環境衛生保全業務	隔月	5/13	7/15	9/2	11/6	1/9	3/6	-	
17	ピアノ保守点検業務	年1回	12/11	-	-	-	-	-	-	ピアノをメインにしたコンサート開催前
18	雨水給水ポンプシステム保守点検	都度	12/1	-	-	-	-	-	-	

令和7年度瀬戸屋交流センター保守・管理業務報告書（施設維持管理業務報告書）

令和8年4月13日

施設カテゴリー分類	分類	項目	収支状況の項目	支出額(円)	内容	実施時期	実施回数	実施形態	委託先・契約先等
建物点検		建物設備巡回点検	外部委託保全費	99,000	建物および設備の巡回点検	6月、9月、12月、3月	4回	業務委託	丸正建設株式会社
清掃業務費	清掃業務	館内清掃	外部委託保全費	3,235,237	館内清掃	月・木・土・日曜・2時間・・・2名 火・金・2時間・・・4名	年末年始の休日及び休館日以外	業務委託	(社)芦屋市シルバー人材センター
		屋外清掃	外部委託保全費		館外植栽区域の清掃	毎週火曜、金曜(各2時間)	週2回	外部委託	(社)芦屋市シルバー人材センター
		不定期清掃	外部委託保全費	169,400	館内床特別清掃(床洗浄、ワックス掛け)	3月	1回	業務委託	㈱JCC
人件費	受付管理業務	夜間受付管理	外部委託保全費	3,671,950	当日の受付業務(予約受付、利用料收受を含む)及び電話応対	開館日の17時30分～21時45分 予約受付業務はく17時30分～21時30分	年末年始の休日及び休館日以外	業務委託	(社)芦屋市シルバー人材センター
植栽剪定費	設備維持管理	剪定・除草	外部委託保全費	285,000	植栽(中高木含む)の剪定、雑草の除去、草花の整備、寒肥	5月、6月、7月、9月、10月、11月、2月	7回	業務委託	(一般社団)ブランディング芦屋
		散水	—	—	南面灌水装置の配備、散水管理	随時	—	事務局職員	
警備員管理人件費	機械整備	機会警備	外部委託保全費	142,560	機械による、館施設後の防犯・火災監視、非常通報サービス	館施設後の時間全て	毎日	業務委託	セコム(株)
設備等点検費	保守点検	自家用電気工作物保守点検	外部委託保全費	246,220	高圧受電設備チェック、低圧電路の絶縁チェック、変圧器チェック	隔月、及び年2回のキュービクル点検	6回	保守契約	(財)関西電気保安協会
		エレベーター設備保守点検	外部委託保全費	739,200	毎月1回の遠隔点検、及び3月に1回の定期点検	遠隔点検:毎月1回、年1回定期検査 定期点検:6月、9月、12月、3月	17回	保守契約	日本オーチスエレベータ(株)
		冷暖房設備保守点検	外部委託保全費	264,000	冷暖房設備機器の保守点検2回(フロンガス点検4回を含む)	5月、8月、11月、2月	6回	保守契約	(有)TACエンジニアリング
		消防用設備定期点検	外部委託保全費	110,000	消防用設備点検、防火対象物点検	防火対象物点検 設備機器点検 4月、9月	2回	保守契約	東報サービス(株)
		駐車場設備保守点検	外部委託保全費	399,300	駐車場出入口設備の定期点検	6月、9月、12月、3月	4回	保守契約	アマノ(株)
		自動扉設備保守点検	外部委託保全費	166,833	正面入口、西入口自動ドアの保守点検	4月、7月、10月、1月	4回	保守契約	ナブコドア(株)
		環境衛生保全業務	外部委託保全費	99,000	消臭剤、配管内清掃剤の設置(補充、メンテサービス)	5月、7月、9月、11月、1月、3月	6回	保守契約	日本カルミック㈱
		テニスコート整地業務	外部委託保全費	105,600	テニスコートの整備	毎月2回:約2時間・・・1名	月2回	業務委託	NAMP JAPAN(有)
		確井散水システム点検	外部委託保全費	33,000	確井散水システムの点検	1回/3年	1回	業務委託	(株)川本製作所
		ピアノ保守点検業務	外部委託保全費	11,000	音階調律及び駆動部の全体点検	基本的に年1回(コンサート前)	1回	業務委託	森脇ピアノクリニック
その他委託費	経理関連	税理士、会計システム利用料等	外部委託	915,113	経理伝票の入力、確認及び会計システムの運用	年12回	12回	顧問、委嘱契約	町田公認会計士事務所 NPO会計支援センター
		委託料				合計	10,692,413		
施設の補修等		建具調整8ヶ所	外部委託	60,500			—	外部委託	丸正建設
		1階廊下手摺再固定作業	外部委託	4,950			—	外部委託	樹井建築
		C級誘導灯ランプ取り換え15か所	外部委託	101,200			—	外部委託	東報サービス
		PCヒューズ取り換え	外部委託	37,400			—	外部委託	関西電気保安協会
		散水栓破損修理	外部委託	25,410			—	外部委託	樹井建築
		女子更衣室洗面蛇口光電センサー取換1か所	外部委託	30,745			—	外部委託	東和ホームサービス
		2階女子トイレ便座取換1か所	外部委託	185,900			—	外部委託	東和ホームサービス
		バーキンシステム新札取コイン対応部品取り付け	外部委託	209,330				外部委託	アマノ
		1階オープンスペースブラインド修理	外部委託	36,410			—	外部委託	ニチベイサービス
		修繕費				合計	691,845		
管理費		総合賠償責任保険	保険料	29,900	総合賠償責任保険(館、屋外交流広場、敷地含む)対人対物(保険金額:1事故10億円迄) ※施設管理者(＝指定管理者)の施設の管理不行き届き等により、施設利用者または第三者の身体や財物に被害を与え、その治療費用(身体)・後払費用(財物)等に関する損害賠償責任を請求された場合に適用	令和7年4月2日～令和8年4月2日		代理店と契約	(株)ケーJークレセント
		レジャーサービス施設保険		83,540	災害による怪我の保証及び食中毒(被災者対応200万) ※施設敷地内で、災害(火災、落雷、爆発、施設外からの物体の飛来、倒壊)による来場者の怪我の保証。	令和7年4月11日～令和8年4月11日		同 上	㈱インシュアランス・サービス
		動産総合保険		17,780	金庫の現金資産保険(80万円迄)	令和7年4月11日～令和8年4月11日		代理店と契約	㈱インシュアランス・サービス
		ボランティア保険		8,000	上記に担保されない理事の傷害保険	令和7年4月10日～令和8年3月31日		直接契約	芦屋市社会福祉協議会
保険料				合計	139,220				